

第16回 南部地区街づくり協議会 議事録	
開催日時	令和元年8月22日(木) 10:00~12:00
開催場所	4階 特別会議室
出席委員	委員11名
欠席委員	伊藤委員、木村委員
事務局	山中特命参与、岡本市長公室長、(総合政策課) 岩田課付課長、山崎主査、 (産業振興課) 嶋崎課長 (農林課) 森本課長、色雲係長 (福祉政策課) 松田課長
決定事項	
議事内容	
<p>1. 開 会 -10:00-</p> <p>2. 市長挨拶</p> <p>3. 議事</p> <p>以下、議事進行は会長が進める。 (地区内及び市内における取組みについて)</p> <p><b>会 長</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区内において地域の方々のご尽力により様々なプロジェクトが進んできている。 まずは地区内の全体状況を整理する。</li> </ul> <p>(南部地区活性化プロジェクト全体整理)</p> <p><b>事務局</b></p> <p>※資料「第16回南部地区街づくり 全体整理資料」により地区内のプロジェクトや地域の取り組み等について説明。各事業の具体内容については以降の議事で説明。</p> <p>(地区活性化について)</p> <p><b>事務局</b></p> <p>※資料P1~5「柳本駅舎改修」により説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成31年4月27日の柳本駅リニューアル竣工記念式典は柳本駅舎管理運営協議会をはじめとする地域の皆様方のおかげで約700人の参加者を集め盛況だった。地元の皆様には改めてお礼申し上げます。</li> <li>・当日の様子や現在の駅の利用状況について森田委員、山本委員より報告していただく</li> </ul> <p><b>委 員</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・式典当日はたこ焼きなどの模擬店、北川住職と並河市長の対談などに加え、地元幼稚園・小学校・中学校による演目を入れることで子どもとその保護者が参加することで若い世代にもたくさん参加をいただいた。</li> <li>・また、山の辺ミュージカルやスタンプラリーを式典後に行うことで多くの方に長時間駅前に滞在してもらおうことができオープニングは上手くいった。</li> </ul>	

- ・ 駅舎内の食堂ピクトンの売上についてですが、5月から7月までで徐々に落ちてきてはいるが、暑さのせいもあると思う。秋に向けて盛り返してくると思う。
- ・ 駅舎内に織田柳本藩邸の鬼瓦のレプリカも飾り始めた。市内の石野瓦工業から寄付いただき、織田藩の藩主祭でも飾らせていただいた。
- ・ 駅前朝市については6月16日から毎週土日で開催している。悪天候により数度中止もあったが、お客さんは徐々に増えてきている。土曜日はベーカリーロミー、桜井さん、南檜垣営農組合が出店。日曜日は南檜垣営農組合が出店している。  
お客さんの大半は駅から半径200m以内であるが、最近は駅西側からもお客さんがくるようになった。

## 会 長

- ・ もともと無人駅で乗降客も少ない部類だったが、地域の皆様の力で取組が進んでいる。5月は開店早々で、ゴールデンウィークが重なり売上も上がったがこれから秋に向けての動きが大事なかなと思う。
- ・ 夏祭り際には三味線のコンサートもあり文化振興の部分でも効果を上げていただいている。
- ・ 柳本駅が山の辺の道へのゲートウェイになればと考えている。

(めぐみめぐるてんりブランディングについて)

## 事務局

資料P6「ブランディングものづくり」にて説明

- ・ てんりブランドモノづくり事業は平成28年からの取組で、これまで市内9事業者に対して本市のブランディングプロデューサーである graf の服部氏とともに元々品質は良いがあまり知られていない商品等のパッケージの刷新や新商品の開発を行ってきた。
- ・ 本日は、本協議会に丸山繊維産業株式会社より丸山代表取締役、山本松産業株式会社より山本専務取締役に出席いただいた。両名より商品の説明を行っていただく。

## 丸山代表

- ・ 弊社は1930年創業で自分が3代目になる。
- ・ 蚊帳商品を取り扱っているが、いまや蚊帳はほとんどありません。今回は我々のブランド「ならっふ」のブラッシュアップということで当初蚊帳を作りたかったが様々な事情から蚊帳のパーションを製作した。これを1枚施すことで視線が気にならず癒し効果があったり、落ち着きのある生活ができる。
- ・ インテリアは専門外なので新たな商売のチャンネルにもなるかと考えている。
- ・ 弊社は長柄町で営業しているが、工場であるためなかなか外に商品価値が伝わらない。天理に根差して商売している以上地域に貢献し、もっとアピールしたいと考えていたところに今回の募集の話があった。
- ・ めぐみめぐるてんりのサイトは非常に良く、住んでいる人と天理市が一体になってアピールでき

るツールであり、どんどん広げていってほしい。

#### 山本専務

- ・弊社は布団製造業を生業としており、業務の90%は企業向けの布団を製造している。
- ・せっかく天理で仕事をしているので地域の人の役に立つ商品を作りたい。天理の人を雇用し、天理の人にお金を使っただき自社も含めて成長していきたい。
- ・今回応募した理由は2つあります。1つは私たちの事業は半分がゴミとして捨てられる商品です。ごみとして捨てられる商品をリサイクルし、環境にやさしいものづくりで社会に貢献したい。もう1つが共通価値観の創造をして社会的問題を解決したい。環境汚染問題に対する啓発や障害をお持ちの方を雇用させてもいただいている。これを利益に繋げていき、天理の役に立ちたいというのが応募理由です。
- ・そんな中で生まれた商品が丸おざぶとんと抱っこふとんです。
- ・丸いざぶとんは、中に綿を、外側も土にかえるものを使っていて、赤ちゃんのおむつ替えに使っていただける。婚礼布団を丸ざぶとんに仕替えたりもしている。
- ・抱っこふとんはキットで作ろうという提案があった。キットは裁縫が苦手な人でも2時間程度で作れる。お母さんの匂いがするふとんごと抱っこすることで抱っこが苦手な方でも簡単に抱っこができる。
- ・試作や資材を買ったりという費用はかかったが、開発費用的にも援助をいただいたので非常にありがたかった。

#### 会 長

- ・地域へのあたたかい思いと詳細な説明ありがとうございました。それぞれ販売はこれからですか。

#### 山本専務

- ・丸ざぶとんはすでに販売しており、10数個の注文が入っている。

#### 委 員

- ・山本松さんは環境にやさしい商品が素晴らしい。こうして直接手に触れたのは初めてでいい勉強をさせていただいた。
- ・丸山繊維さんは以前に工場見学に行ったことがあり、その際に寒冷紗が水に触れるとあれだけ重くなることに感動した覚えがあります。

#### 会 長

- ・これからの販路展開の計画はどうなっていますか。

#### 事務局

- ・山本松さんは自社で販売しています。

#### 丸山代表

- ・こちらは9月から奈良にある「ならっぷ」と自社のサイトでの販売を行います。

#### 事務局

- ・両方の製品ともコフフンショップや市内での販売も進めていきます。また山本松さんの方ははぐ

～るで置けるよう調整しています。蚊帳に関してはトレイルセンターや柳本駅での設置を考えています。

(生活支援・健康づくりについて)

## 事務局

資料P8～16にて説明

「健康西長柄町を考える会」

- ・昨年度にヘルスアンバサダー講座を受講したメンバーを中心に本年6月に「第2回ウォーキングバトル」を開催。期間の短縮、参加方式の変更を行うことで昨年よりも参加者を増やした。
- ・西長柄町公民館に血圧計や前屈測定器などを設置し、公民館利用者への健康意識の啓発を行っている。長寿会などで人気。
- ・谷口西長柄町区長に話を聞いたところ、町内で歩いている人を見かけることが以前より増えた。
- ・少しずつではあるが、町内での健康意識の高まりはあると感じられる。

## 会長

- ・地元で盛り上げていただくことが大事である。
- ・歩かないと歩幅が狭くなり転倒されることがある。元気な方でも転倒による骨折から寝たきりになるケースもある。
- ・西長柄の取組が南部全体の参考になればと思う。

「活脳教室」

- ・活脳教室は脳の機能を維持して認知症にならないようにする教室です。天理市では平成27年度から公文学習療法センターのノウハウを活用して取組んでいる。この4年間で脳の機能の維持改善の好結果が出ている。
- ・今までは市の中心部で1・2教室行っていたが、今年度は周辺部も含め6教室で展開していく。
- ・活脳教室で高齢者に取組んでもらうのは、簡単な計算と読み書きです。毎週1回を6か月間、計24回行います。実際にしていることの例としまして数字盤があります。1～100までの数字を早く並べるというゲーム感覚のものです。教室の間には宿題もあります。
- ・この取組は成果連動型事業として行っている。今までは成果が上がっているかはっきりわからないまま対価が支払われていたケースもあるがこの事業は成果を可視化し、成果に応じた対価を支払うというものである。成果が上がっているかの評価には第3者として慶應義塾大学も参加している。認知症予防の分野として取組んだのは日本初で、全国の自治体からも問い合わせがある。
- ・南部地区では今年度、柳本公民館と朝和公民館で行う。柳本公民館は6月から既に教室を始めている。開始に当たり、校区の区長様等には生徒やボランティアの募集にあたりご尽力いただいた。
- ・まもなく6ヶ月のうちの半分が経過し中間検査があるので結果を楽しみにしている。
- ・教室は1限目と2限目に分かれているので各回の生徒さんの交流会をしたいという声があり、9月9日に行うことになっている。生徒さんから交流会をとというのは珍しいケースで地域の方の意欲の高さが感じ取れた。

- ・朝和公民館は来週から開始となります。

## 会 長

- ・介護認定が1から5までであるが、全てにおいて認定理由のトップが認知症であり対策が重要である。
- ・日本初の成果連動型で、国でも注目を集めており、世耕経済産業大臣の研究会でも発表した。
- ・今後の展開は地域のみなさまのお力が大きい。特に区長や民生委員、長寿会の皆さんには一度現場を見てほしい。

## 事務局

「ふれあいサロン」

- ・活脳教室に続いて市内のふれあいサロンについても紹介します。
- ・ふれあいサロンは地域住民の方が主体となって集まってもらう場です。
- ・先日、川原城町のふれあいサロンを見学してきた。この日は奈良県歯科衛生士会の方の講座を受けた後にみんなでお茶を飲んだり、話をされていた。
- ・市内のサロン活動の報告の場として、「うれし・たのしや交流会」を毎年開催している。第17回が11月16日に開催されるので興味のある方は来場願います。サロン活動に参加していなくても参加できる。

## 委員

「南檜垣町ひまわりサロン」

- ・南檜垣町公民館で今年の6月より始めた。柳本・式上公民館でも同じようなことをやっていたが迎える必要なためより近くでできるようにサロンを開設した。
- ・1時の開始時点で30名ほど来られていた。大きい声で楽しそうに話されており、家ではなかなか話をする機会も少ないのかなと感じた。

## 事務局

「天理駅前広場を利用した健康づくり」

- ・南部地区から離れ天理駅前広場を利用した健康教室もいくつか紹介をしたい。資料の4つの講座は毎週もしくは隔週で行っているものなので天理駅まで来られる方については参加してほしい。
- ・次は天理駅前広場を利用した地元行事のPRについて報告します。
- ・それが柳灯会です。委員の皆様はよくご存じである柳灯会のPRとしてコフフンでミニ柳灯会というものを事前に開催している。ちょうど、今日・明日が開催となるので一度見に来ていただきたい。
- ・柳本もてなしのまちづくり会は約50名います。今年は第16回で柳本公園をメインに黒塚古墳、柳本駅前広場、駅通り、上ツ道、169号線からトレイルセンターまでロウソクを約4,500並べます。現在は毎週水曜日に会員の皆さんで準備いただいている。その延長で今日と明日、天理駅前広場でロウソク200、行燈4つを並べる。

## 会 長

- ・駅前で行っている教室でリーダーを育成し、それを地元を持って帰っていただきたい。サロン等で広めてもらえたら。まだ、朝和・柳本ではSTEP 体操の教室はないんですよね。

## 事務局

- ・教室としてやっているところはまだない。活脳教室などを利用して広めていければと考えている。

(その他について)

## 事務局

資料 P17～P23 にて説明

- ・なら歴史芸術文化村の工事状況ですが、資料の写真は先週末時点のものです。写真右上の農村交流施設が敷地西側になるので、県道から見える部分です。工事完了は来年の5月末を目途として進んでいる。前回説明したホテルについては来年度から工事が進んでいく予定です。
- ・先月の7月4日に奈良県と天理大学が「奈良県と天理大学とのなら歴史芸術文化村に関する連携協定」を締結した。奈良県の文化村事業に関して連携協定を大学と結ぶのは天理大学が初めてです。ご存じのとおり天理大学は文化村の近くにキャンパスがあり、歴史学・考古学において貴重な資料を数多く所蔵する天理大学図書館や、天理参考館も保有している。また、留学生も多くいて国際交流も盛んである。今後は、文化を担う人材の育成・教育・研究の振興、歴史芸術文化を活用した地域振興に向けて連携を深めていかれる
- ・本市の関連する事業としまして、文化村のオープンに向けて昨年12月にアートスペース TARN を開設しました。市内外のようなアーティストに創作発表の場として利用していただいている。
- ・一定期間滞在して創作活動を行う「アーティスト・イン・レジデンス」や、子供から大人まで楽しめるワークショップも開催している。
- ・TARN ではサポートスタッフを募集しており、運営に携わる人間を増やすことで文化芸術に長けた人材育成も進めていきたい。

## 会 長

- ・オープンまでは2年ほどあるが着々と建設は進んでいる。我々の役割はオープン後ここが賑わうために文化芸術の活動を盛り上げていくことと地域との連携を進めていきたい。
- ・農村交流施設の指定管理者が決まれば、交渉を始めていきたい。

## 委 員

- ・指定管理の部分ですが、文化財修復とレストランの部分で管理者を分けると聞いたがどうなっていますか。

## 事務局

- ・個別に募集するのではなく、全体を管理できる事業者を募集します。

## 委 員

- ・文化財の分野は特殊なので業者は限られてくるのではないかと。

## 事務局

- ・文化財に関しては県や市が直接管理することになると思う。文化財修復棟に関しては施設管理や清掃などが指定管理者の業務に当たる。現在、直営と委託の線引きを県が決めている。

## 会長

- ・来週、まさにその件も含めた文化村についての会議に出席します。大きく分けると、文化芸術のソフト事業は県が、施設の維持管理については指定管理業者というような分け方になると思う。

## 委員

- ・先ほど天理市さんから説明があったように専門的な部分については県・市が担当し、施設の管理の部分は指定管理を活用する。

(アグリツーリズムについて)

## 事務局

- ・奈良県農林部主導でアグリツーリズムという事業を進めている。
- ・21 ページにあるようなものを既存施設も含めた施設を利用して作っていききたい。22 ページのようにゾーン分けをしている。
- ・ワイナリーについては個別案件として進めている。ワイナリーは全国に約 300 あるが、佐賀県・福島県・奈良県にはまだない。奈良県初のワイナリー設置に向けて活動している生産者がいる。現在、石上町でブドウ栽培を行っている。市内に醸造所ができれば、天理ワインと呼べるようになるので県・市としても協力している。

## 委員

- ・私は県の職員で地域振興の仕事を 30 年ほどしており、県主催の山の辺の道地域戦略会議にアドバイザーという形で参加している。会議の委員の方は地域で活動されている方です。高齢化や耕作放棄地の課題が山の辺の道周辺で広がっている。
- ・桜井市内で建設中の NAFIC のセミナーハウス、天理市内の芸術文化村を核として、こういった課題の解決の手だてとして活用する狙いがあります。
- ・地域活性化の会議でいつも難しいと思うのが多様な主体が連携していくということ。競争も大事だが連携による相乗効果が重要です。
- ・荒井知事が地域活性化のため目指しているのは「稼ぐことと集客」。2 つの大きな県の施設を起爆剤に団体が連携できるように会議を進めていきたい。
- ・会議参加者の意見を参考までに紹介します。地域資源を活かした活動はすべてボランティアの無報酬ではなく、活動に伴う収益を得ること、つまり小商いにより小金を稼げるのが継続性につながると考えているほうが多いです。
- ・また、地元に住んでいる方の思いは、10 年前、20 年前から景観が大きく変わってきている。事業をされている委員の中には 5 年単位で山の辺の道の利用者に意見を聞いて戦略を考えておられる。今回の山の辺の道地域戦略会議においてなら歴史芸術文化村を利用していくことが地域の盛上げに繋がる。地域全体の連携と競争を促していけるようアドバイスをしていきたい。

## 会 長

- ・連携が大事というのは正にその通りだと思う。全てを新しく作ることはできないので今あるものをうまく利用していけるかだと考える。
- ・ワイナリーについては醸造所が奈良にないことで「奈良ワイン」と名乗れない。以前は名乗れていたが、法律の改正により名乗れなくなった。それを復活させたい。
- ・現状として、物件がない・風致地区の関係で新築も建てづらい。なので、空き家等の情報を地元から教えてほしい。
- ・県に対しては県有地を渋谷町の方にもお持ちなので、現在は管理一辺倒だが活用に関しても意見を伝えている。

(萱生町獣害対策について)

## 事務局

資料 P24 にて説明

- ・萱生町の獣害対策は平成 29 年度から獣害につよい里山づくり事業については県の補助を受けながら有害獣のえさ場や隠れ家となりうる放置林の間伐や皆伐を行ってきた。
- ・実施個所の 1 つである西山塚古墳では眺望の良さを再発見し、観光イベントのスポットとして利用している。獣害被害から観光支援という副次的な効果もあった。

## 会 長

- ・これは鳥獣害対策であるとともに観光資源への転嫁ができた事例であった。地域の皆様との連携が大事であるし、こういった取組をまた紹介していきたい。
- ・多種多様な内容だったが、南部地域の皆様に安心して元気に過ごしていただくという点では通じていたと思う。行政だけではなく地域の皆様と一緒に頑張っていくことの確認の場が街づくり協議会かと思う。

## 6. 次回の日程と主な協議内容

次回第 17 回協議会は状況を見て調整。事務局より改めてご連絡させていただく。

## 7. 閉 会 —12:00—